



TITLE:

表紙・『京都大学大学文書館研究
紀要』編集要項・編集後記・裏表
紙

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・『京都大学大学文書館研究紀要』編集要項・編集後記・裏表紙.
京都大学大学文書館研究紀要 2017, 15

ISSUE DATE:

2017-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/219451>

RIGHT:

京都大学大学文書館研究紀要

第 15 号

論文

「国立公文書館等」を再考する

倉方 慶明 < 1 >

論文

戦時期における高等教育機関の在学・修業年限短縮について

西山 伸 < 19 >

論文

京大と満洲国
— 満蒙研究会・満蒙調査会の活動を中心に —

冨永 望 < 33 >

研究ノート

地方公文書館の運営目的に関する事例調査
— 日本、イギリス、アメリカを比較して —

元 ナミ < 53 >

書評

坂口貴弘著
『アーカイブズと文書管理 —— 米国型記録管理システムの形成と日本』

齋藤 歩 < 75 >

『京都大学大学文書館研究紀要』編集要項 < 79 >

編集後記 < 80 >

京都大学大学文書館

2017年 3月20日

『京都大学大学文書館研究紀要』編集要項

1. 京都大学大学文書館に、京都大学大学文書館研究紀要（以下、「研究紀要」という。）の構成および内容に関する基本的計画の立案その他編集の総括を行うため、京都大学大学文書館研究紀要編集委員会（以下、「編集委員会」という。）を置く。
2. 編集委員会に委員長を置き、大学文書館長をもってあてる。委員は大学文書館教員とする。
3. 研究紀要には、京都大学および高等教育の歴史、アーカイヴズ論等に関する論文、研究ノート、資料紹介、書評等を掲載する。
4. 論文は、400字詰原稿用紙換算で60枚以内、研究ノートは40枚以内、資料紹介は80枚以内、書評は20枚以内とする。ただし、編集委員会で特に認めた場合はその限りではない。
5. 研究紀要に執筆することができるのは、京都大学大学文書館の教職員のほか、学内外を問わず編集委員会で選任して依頼した者、執筆を希望して編集委員会で認められた者とする。
6. 原稿は原則として未発表のものに限る。

編集後記

『京都大学大学文書館研究紀要』第15号をお届けします。

今号は、論文3本、研究ノート1本、書評1本を掲載することになりました。

大学史・高等教育史に関しては1941年に行われた戦時期における高等教育機関の在学・修業年限短縮に関する論考と、戦時期の京大における国策とのかかわりを代表する一例として満洲国研究・調査を取り上げた論考を掲載しております。どちらもこれまで実証的研究が深められていなかった、戦時期の高等教育機関の一面を検証した論考であります。

アーカイヴズ論に関しては、国立公文書館等の指定の経緯を分析した論考と、地方公文書館の運営目的を海外の事例と比較して検討した研究ノートおよび米国型記録管理システムの形成と日本におけるアーカイヴズ制度の発展を論じた学術書の書評を収録いたしました。いずれも公文書等の管理に関する法律が施行されて5年以上経過した今日、今後の日本におけるアーカイヴズ研究の発展を目指す基礎的研究であると考えます。

今後とも、京都大学大学文書館及び本研究紀要をご指導くださいますよう、よろしくお願いいたします。

(京都大学大学文書館 元 ナミ)

京都大学大学文書館研究紀要 第15号

2017(平成29)年3月20日発行

編集 京都大学大学文書館研究紀要編集委員会

発行 京都大学大学文書館

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9

電話 075(753)2651

印刷 ヨシダ印刷株式会社

〒604-8277 京都市中京区三坊西洞院町572

電話 075(252)5421

Research Bulletin of Kyoto University Archives

No.15

ARTICLE

Rethinking designation as “the National Archives of Japan, etc.”

KURAKATA Yoshiaki < 1 >

ARTICLE

Shortening of the Academic Term of Higher Education in 1941

NISHIYAMA Shin < 19 >

ARTICLE

Kyoto Imperial University and Manchukuo; Focusing on the Activities of the Society for the Study of Manchuria and Mongolia, the Commission of the Research of Manchuria and Mongolia

TOMINAGA Nozomu < 33 >

NOTE

Case Study of the Aim of Local Archives in Japan, England and the United States

WON Nami < 53 >

MATERIAL

SAKAGUCHI Takahiro, “Formulation of American Recordkeeping Systems and Its Transformation in Modern Japan”

SAITO Ayumu < 75 >

Kyoto University Archives

2017. 3 . 20